

福岡市設計測量業協会の平成28年賀詞交歓会開く

新たな年に向けて、関係者が協会と会員企業の飛躍を誓う



関係者約100人が新年に向けて一層の飛躍を誓った平成28年賀詞交歓会

(一社)福岡市設計測量業協会(尾川昇会長・略称:市測協)の平成28年新年賀詞交歓会は19日、福岡市のグランド・ハイアット・福岡で開き、会員及び賛助会員と来賓の福岡市の財政局理事や幹部職員、国土交通省国土地理院九州方測量部、顧問の福岡市議会議員ら関係者約100人が出席し、新たな年に向けて協会の更なる飛躍と会員企業の繁栄、活躍を願った。

交歓会は、船津事務局長の司会で進行。主催者あいさつに立った尾川会長は「福岡市長の年頭あいさつで“次のステージへのチャレンジ、一層の飛躍の年になる”との言葉をいただき、心強いばかり。一方、わが業界においては福岡市が改正品確法に伴う担い手の確保のための労務単価の改定、予定価格の適正化などを次々に行っていたいただき、ありがとうございました。協会としては市民に安心して安全な暮らしを確保するために、飲酒運転撲滅キャンペーンへの参画、防災協定の遵守と生活道路の危険箇所調査を手掛け、今年、残り5,000haの調査を行う予定。このような社会貢献活動を積極的進め、地場企業としての特性を図っていきたい。また、昨年末には福岡市担当部局との意見交換会を開催し、これからの委託業務、技術の向上、成果品のグレードアップなどについて意見交換できたことを感謝します」などと抱負



主催者あいさつの尾川会長

を述べた。

このあと、福岡市幹部職員の来賓紹介があり、代表して三角正文財政局理事は「次世代へ繋ぐ天神ビッグバン、ウォーターフロントネクスト等を推進し、供給力のある街へ大胆に生まれ変わらせることで、福岡市のステージを



福岡市の幹部職員と来賓挨拶の三角財政局理事

上げ、更なるステージを可能にしていきます。今年も次のステージに向けてのチャレンジをみなさまと共に全力で取り組み、都市の成長と生活の質の向上の好循環を確かなものとし、新しい価値を産み出し、地場企業の成長・発展にも繋げていきたい。公共事業の運営については、意見交換を進め、設計委託等の適時かつ計画的な発注の推進、地場企業の採算性を確保しつつ、公共事業の円滑な施行の確保に取り組みたい。また、道路や下水道など市民生活を支えるインフラ整備のみならず、守る、活用することが重要となっている。このような中で、設計・測量の技術が果たしてきた役割は非常に大きく、今後とも一層の技術向上を期待したい」などと挨拶した。



挨拶する飯塚測量部長

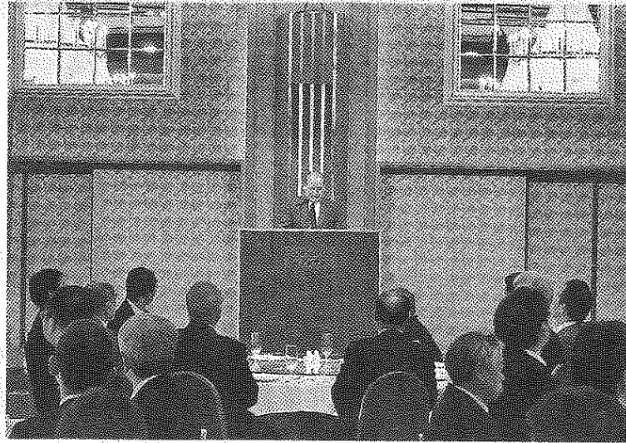
来賓の飯塚豊久部長（国土地理院九州測量部）は、外国人にわかりやすい地図や観光地などを紹介する新たな18の地図記号ができたことなどについて報告し、「協会の発展と会員企業の活躍を」と激励。続いて、協会顧問4人の福岡市議会議員紹介があり、顧問団長の国分徳彦議員は「福岡市の公共予算は年々減っていく傾向にあります。皆様とよく協議し、声を真摯に受け止め、協会員で良かった、顧問団がいてよかったと言われるように、頑張っていきたい」との力強い決意を表明した。

福岡市議会議員の今林ひであき顧問幹事長の乾杯の音頭で開宴。福岡市OB紹介（6人）や新入会員3社の紹介などがあり、新年に向けて協会の飛躍と企業繁栄を願い、和やかに歓談した。また、交歓会前には「平成27年度経営者研修会」が開かれ、講師の佐々木類氏（産経新聞社九州総局長）が「安倍政権の展望と課題について」と題して講演した。



平成27年度経営者研修会

新年賀詞交歓会を開催 福岡市設計測量業協会



(一社)福岡市設計測量業協会(尾川昇会長)は19日、平成28年新年賀詞交歓会「写真」を福岡市博多区のグランドハイアット福岡で開催した。参加した会員は、社会貢献活動を通じて業界のPRを推進するとともに、

市と連携して安心・安全な街づくりに尽力することなどを誓った。賀詞交歓会には、来賓として福岡市財政局の三角正文理事や国土地理院九州地方測量部の飯塚豊久部長、福岡市議会議員らが出席したほか、メー

カー関係者や会員ら約100人が参加した。尾川会長は「飲酒運転撲滅キャンペーンへの参画や防災協定など、福岡市と密接な関係にあるが、これからも社会貢献活動を積極的に推進し、地場企業としての特性を図っていきたい。昨年末の福岡市担当部局との意見交換では、会員企業の技術向上について有意義な議論ができた。また、26年度から取り組む生活道路の危険箇所調査については市街地の3分の2の調査が完了し、残り約5000haの調査を本年度に実施する。今後も福岡市と連携を図り、安心・安全な街づくりに貢献していく」とあいさつ。来賓を代表して、福岡

市の三角理事は「交流人口増に向けた観光・MICEの進展により、観光客や外国からの入国者数が過去最高を更新した。その一方で、コンベンション施設やホテルなど都市としての供給力不足も顕著となってきた。更なる市の発展のため、業界関係者との意見交換を行い、設計委託等のスピーディーかつ計画的な発注の推進、地場企業の採算性を確保しつつ、円滑な施行に取り組んでいく。今後も市の事業への協力をお願いする」と呼びかけた。続いて、福岡市議会議員(東区)の今林ひであき氏の乾杯の音頭で祝宴に入り、新年を祝う楽しい一時を過ごした。